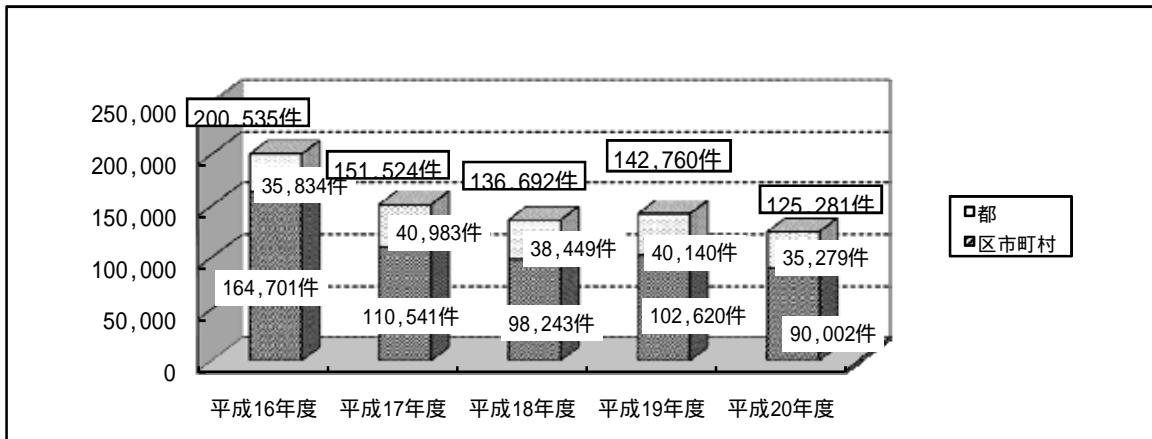


資料編

1 相談全体の概要（「平成20年度消費生活相談概要」3頁～9頁）

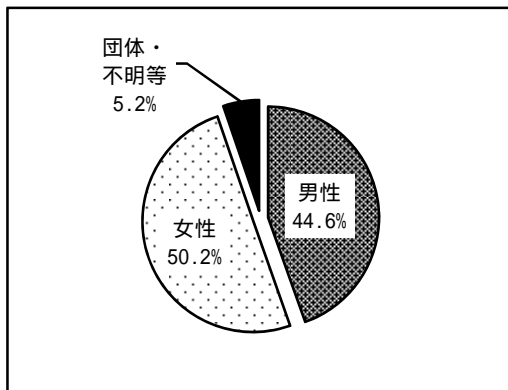
平成20年度の相談件数は125,281件となり、前年度より12.2%減少した。そのうち東京都受付件数が35,279件、区市町村受付件数が90,002件であった（図-1）。

【図-1】相談件数の推移



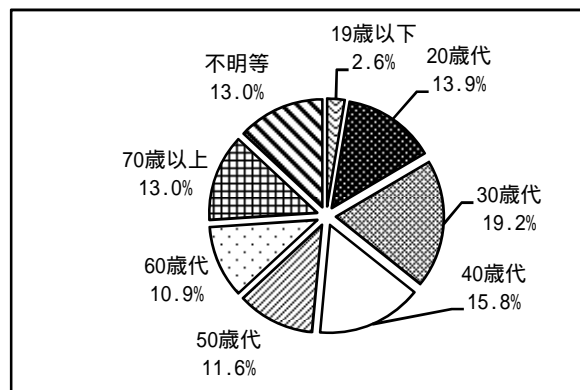
契約当事者の属性でみると、性別では女性の占める割合が50.2%、男性の占める割合が44.6%であった。前年度と比較すると女性の占める割合がわずかに減少した。年代別では30歳代が最も多く19.2%であった。前年度と比較すると60歳以上の占める割合が大きく増加した。対して30歳代以下の占める割合は減少した（図-2～3 / 表-1～2）。

【図-2】契約当事者性別割合(平成20年度) 【図-3】契約当事者年代別割合(平成20年度)



【表-1】契約当事者性別件数と割合
前年度比較

	平成20年度	(構成比)	平成19年度	(構成比)
男性	55,860	(44.6%)	63,470	(44.5%)
女性	62,867	(50.2%)	72,657	(50.9%)
団体・不明等	6,554	(5.2%)	6,633	(4.6%)
計	125,281	(100.0%)	142,760	(100.0%)



【表-2】契約当事者年代別件数と割合
前年度比較

	平成20年度	(構成比)	平成19年度	(構成比)
19歳以下	3,291	(2.6%)	4,636	(3.2%)
20歳代	17,400	(13.9%)	23,084	(16.2%)
30歳代	24,043	(19.2%)	28,939	(20.3%)
40歳代	19,762	(15.8%)	21,876	(15.3%)
50歳代	14,551	(11.6%)	16,441	(11.5%)
60歳代	13,598	(10.9%)	13,797	(9.7%)
70歳以上	16,296	(13.0%)	15,776	(11.1%)
不明等	16,340	(13.0%)	18,211	(12.8%)
計	125,281	(100.0%)	142,760	(100.0%)